

運営体制の考え方

- 各WGが見据える想定実装時期の違い等により、検討のスピード感が異なっていると同時に、議論を深めるためにはより多角的な視点から知見を寄せ集めていく必要がある。
- 2023年春の幕張豊砂駅開業を見据えると、特に開業時に実現可能なサービスや連携を集中的に検討していく必要がある。並行して、中長期的（～2025、26年）に検討すべき事項についても意見交換を進めていきたい。
- 以上の動きに対応するため、WGをモビリティサービスの導入・高度化を検討するモビリティWGとサービスの最適化・一体化を検討する横連携WGに再編する。



◆組織体制

幕張新都心モビリティコンソーシアム

座長：岡村敏之（東洋大学 教授）

総 会

オブザーバー
（自治体、関係省庁など）

WG幹事会

運営支援事業者
デロイトトーマツコンサルティング
合同会社

モビリティWG

幹事：（株）NTTドコモ千葉支店

横連携WG

幹事：イオンモール（株）

マイカモビリティPT
（仮）

自律移動モビリティ
PT（仮）

回遊性向上
PT（仮）

最適化・
共有化PT
（仮）

MaaS
プラットフォームPT
（仮）

PTについては第1回WGで合意の上、設置する予定